

コートダジュール大学  
BESIGN The Sustainable Design School 交換留学  
月例報告書（9月分）

鈴木 梨恵琉

私は、フランス・ニース地方の BESIGN The Sustainable Design School へ、デザインを学びに留学しています。シンガポールとドイツを経由し約 30 時間。時差を考えると日本を出て丸 1 日後に到着。新型コロナウイルスの空港検疫もなく、国内ではマスクをしている方が目立つほどです。しかし飛行機内はマスクが必要だったので肌荒れが…。長時間のフライトの時は要注意です。

フランスでも美しい地中海に面する南仏地方。天気が良く過ごしやすい日ばかりです。温暖かと思っていましたが、海風もあるので日陰に入ると肌寒いくらい。海岸沿いは平日昼過ぎでも沢山の人がいます。海に近づくと、ゆったりとした時間が流れていて、穏やかな気持ちになれます。



心配していた水回り設備や硬水については、特に何事もなく生活できています。美味しくはないですが、今のところ飲んでも大丈夫。沸騰や乾いた後はミネラル分が残り、白く跡がつきやすいため、最初は驚きました。窓のサッシにも大量の塩が。雨が運んでくるのでしょうか？日常のあらゆるところに、海の近さを感じます。

各国から生徒が集うため学校内や授業は英語ですが、日常生活中、言語で困ることは想像以上にありました。フランス語は、文芸大で初級レベルを受けたのみでほぼ分かりません。またフランス人は英語を話してくれないと耳にしますが、南仏はプライドがあり話さないというより本当に分からない人が多いと感じました。年齢が上がる程話せない人は増える様子。

スーパーでは、手書きの文字が読みづらい、どの値札かわからない、正面に目線をもっていけないと電子表記が



見えない、割引表示の期限切れ等、商品の情報が受け取りづらい上にパッケージはフランス語。ただでさえ物価が高いのに、買い物は何度も失敗しました。そして不思議なことに、英語を話せるか聞いてからそれらについて尋ねても、懸命にフランス語で説明してくれます。もちろん分からないけど Merci は忘れません！心もあたたかい人が多いです。



そして当然のこと各種手続きも全てフランス語。時間もかかるし、ニュアンスが分からず苦戦することも少なくありません。難しい…。翻訳機を駆使して、時には人の力をお借りして挑み続けています。

テレビでは、日本の有名アニメ ONE PIECE がお昼頃に放送されています。挿入歌は日本の歌のままで、台詞はフランス語です。意外にもキャラクターの声に違和感がなく、日本の作品を大切にしてくれているように感じました。スーパーには漫画がもう 101 巻まで売られていました。日本のカルチャーショップもよく見かけます。フランスだけでなく他の国の人達も日本の漫画で読んでいるものについて話してくれます。

学校については、小規模ですが授業内容が独特でとても新鮮です。(内容は次回の報告書で!) アクセスしやすく、ビーチでお昼をとれるほど海も近いです。様々な国の学生がいるので出身の国を聞く度、地理に疎い私は勉強になります。私達が配属された院 1 年は、ものをつくるよりセオリーを学ぶカリキュラムだそうです。文芸大のように幅広いジャンルが学べますが、全体としてはプロダクトの要素が多いように感じます。

授業がない日には同級生たちとニースをハイキングし、ビーチで色んな話をしました。車にも乗せてもらえました。FIAT500 のマニュアル車。なんと私の欲しかった車…！後ろで指をくわえて座るしかありません。左ハンドルで右側を走る光景はなんだか逆走みたいで見慣れない。フランスは MT が主流なの？日本では免許も AT 限定で MT 車に乗れる人はとても少ないよと話すと驚いていました。車に関する価値観は大きな差があります。道路は狭くて複雑で、どの車も傷だらけ…。国際免許は取得しなくて正解でした。



ニースだけでも毎日気付きが絶えない新鮮な毎日。あらゆるものに目を向けながら約 10 か月の間、楽しく生活していきたいです。